2025年9月 No. 51

宮崎県拠点だより

宮崎県拠点の Webサイトは こちらから



事例紹介

持続可能な農業に向かって!

人材確保の取組事例を紹介します



みなみ農園株式会社(日南市)

ハウス70aで主に観光農園を運営し、いちご狩りには年間約15,000人の入場者、また、青果やジャム等の加工品の販売も手掛け、近くの道の駅では、パフェやスムージーを販売するカフェを営業しています。

人員不足を補うために、県の「ふるさと 宮崎人材バンク」や雇用人材マッチングア プリ「タイミー」を活用しています。

また、年間で一番の繁忙期となる4月の収穫時期には、短期的な活用として「ACにちなん事業協同組合」に職員の派遣を依頼をしています。

今後は、加工品や冷凍いちごの販売に力 を注いでいきたいと考えています。

株式会社井ヶ田製茶北郷茶園(日南市)

茶園11haで有機栽培を行い、製茶の加工・販売、また、輸出も行っています。 茶葉の収穫と加工場では閑散期もありますが、茶畑の管理等を含め従業員の年間 雇用を実現しています。

4月中旬から11月の間は手作業で草取りを行うため、「ACにちなん事業協同組合」に派遣を依頼しています。組合採用時に人柄や農業への適性が確認できているため、雇う側のストレス軽減に繋がっています。

農業の担い手不足は顕著であり、農業が魅力ある職業として受け入れられる必要があると考えています。



※「ACにちなん事業協同組合」は、総務省の特定地域づくり事業協同組合制度を活用しています。

拠点のうごさ

●8月5日 米粉菓子工房「champetre」を訪問

オール米粉スイーツの店「シャンペトル」(宮崎市)の店主、日吉佑太さんは、諸塚村の実家でお米(ヒノヒカリ)を栽培していたことと、お菓子作りが大好きだったことから、米粉を使ったグルテンフリー米粉の菓子工房を開業しました。

店頭には「米粉を使った罪悪感のないスイーツ」 の看板を掲げ、健康やアレルギーが気になるお客 様にも優しいお菓子が並んでいます。







●8月8日 有機原木しいたけの「田中椎茸」を訪問

「田中椎茸」(高原町)の三代目、邊木園(へきぞの)浩子、良昭さんご夫妻は、有機JAS認証の原木しいたけを生産し、昔ながらの薪室(まきむろ)乾燥仕上げで乾しいたけの加工を行っています。

ョーロッパの商談会やフランス、パリで有名シェフの方々から高い評価を受けたことで国内の販売も増え、各地の高級料理店で使われています。



2025 ノウフク アワード NOUFUKU AWARD 2025

<u>−−</u> ●●● ● 多様で魅力的な農福連携(ノウフク)の取組を募集します。

農林水産業と福祉等の多様な人材が連携し、障害者等が農林水産分野で能力を発揮することによって、農林 ・水産分野と福祉分野が抱える様々な課題の解決、障害 者等の社会参画、農林水産業の維持・発展や地域活性 化の実現に貢献している団体等を対象とします。

エントリー受付中!

2025年8月4日周~9月30日後

農林水産省 ホームページ





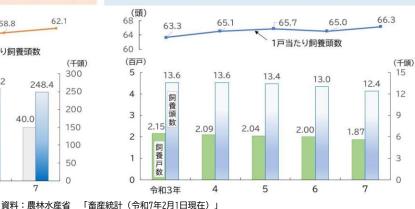
データで見る宮崎の 普薩(肉用牛・乳用牛)!

- 令和7年2月1日現在の宮崎の肉用牛飼養頭数は248,400頭(全国3位)、うち黒毛和種は220,600 頭(全国2位)、子取り用めす牛は80,900頭(全国2位)となっています。また、1戸当たり飼養 頭数は62.1頭で、前年から3.3頭増加しています。
- 同現在の宮崎の乳用牛飼養頭数は12,400頭(全国12位)となっています。また、1戸当たり飼養頭数は66.3頭と横ばいで推移しています。

肉用牛の飼養戸数・頭数の推移(宮崎)

(頭) 65 60 55 50 45 1戸当たり飼養頭数 (種子) (百戸) 260.2 258.2 254.5 250.0 248.4 250 60 51.5 飼 49.4 47.0 200 43.9 40.0 150 40 100 20 50

乳用牛の飼養戸数・頭数の推移(宮崎)



- ◆本紙の記載内容や農政についてのご質問、 ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。
- ●宮崎県拠点 地方参事官室 TEL 0985 - 24 - 2365

〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記令

9月1日は、防災の日です。いつ、どこで起きるか分からない災害に備え、普段の食品を少し多めに買い置きして、賞味期限の古いものから消費し、その分を買い足すことで、常に一定量の食品を家庭で備蓄する「ローリングストック」。備えている水や食料品の期限が切れていないか、また、家具が倒れる心配がないかなど、改めて見直す良い機会にしましょう。(m/)